

平成 22 年 3 月 25 日

各位

会社名 アンジェス MG 株式会社
代表者 代表取締役社長 山田 英
(コード番号 4563 東証マザーズ)
問い合わせ先 経営企画部長 鈴木 文彦
電話番号 03-5730-2480

HGF 遺伝子の新たな医薬特許が成立(日本)

－ パーキンソン病が対象－

当社は、HGF 遺伝子によるパーキンソン病治療剤を対象とする出願が、特許査定を受けたこと
をお知らせします。(特許 4441263)

パーキンソン病は、中枢神経変性疾患の中ではアルツハイマー病に次いで多い疾患であり、
2000～2002 に行われた神経変性疾患に関する研究班の疫学調査結果から、我が国における発
症率は、人口 10 万人あたり 120～150 人と推定されています。この結果と日本の人口からは、国内
には 20 万人弱の患者様がいらっしゃると思えます。また厚生労働省のいわゆる難病指定 130
疾患の中で、最も頻度が高い潰瘍性大腸炎に僅差で続く疾患です。

多くの場合は 50～60 歳代で発症し、振戦(ふるえ)、筋固縮、動作緩慢、姿勢反射障害(倒れや
すい)などの典型的な症状が現れます。高齢者ほど罹患率が高まるため、高齢化社会に向け一層
の増加も予想されています。しかしながら現時点では対症療法が中心であり、根本的な治療方法
が求められておりました。

本発明は、HGF が有する神経細胞に対する成長促進作用／細胞死抑制作用などにに基づき、変
性した神経細胞を修復し、機能を改善するパーキンソン病治療剤に関するものであり、根本的な治
療を可能にするものと期待されます。

なお海外の発症率もほぼ同レベルであると考えられていることから、本発明は豪州でも特許登録
済であり、米国、欧州、カナダ、中国などに出願中であります。

当社は、HGF 遺伝子を中心に据えた総合戦略に基づき、現在開発中の末梢動脈閉塞症プロジ
ェクトに続く、HGF 遺伝子の新たな適応疾患に対する特許権利化も積極的に進めてまいります。

なお、本件による本年度業績への影響はありません。

以上